

## 平成30年度(第32期)事業報告概要

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月 31日

### 1. 事業の状況

当財団は、公益財団法人として科学・技術の研究開発を奨励することにより、産業の振興に寄与する活動を行う目的で昭和61年6月に設立され、平成28年7月に財団創設30周年を迎えた。その目的を達成するために、これまで全国の自然科学・技術の研究者等に対する研究助成事業、千葉県内外の大学院博士後期課程に在籍する大学院生の奨学金給付事業、青少年の創造性開発育成に関する教育及び実践活動への助成事業を行ってきた。また、新たに4番目の事業として、顕彰事業を加えることが平成27年10月20日内閣府公益認定等委員会で認定され、平成28年7月8日財団創立30周年記念式典の中で、第1回財団賞の授賞式が執り行われた。現在、更に一層の自然科学・技術の教育や研究の促進並びに産業振興の奨励に努めている。(以下、〔 〕内は昨年度を示す)

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの実績は、平成30年度総収入1億7,516〔1億9,978〕万円に対し、支出総額は1億6,169〔1億8,151〕万円で1,347〔1,827〕万円の残となった。

支出総額の内訳としては事業費1億4,651〔1億7,112〕万円、管理費1,519〔1,039〕万円の支出である。

- (1) 奨学金給付事業では、千葉県内外の大学院博士後期課程のみの募集を行い、9〔10〕大学、応募者22〔25〕名の中から、書類・面接審査で6〔6〕大学から14〔11〕名を採択したが、最終的に5〔4〕名辞退で9〔7〕名に支給。計1,080〔840〕万円給付。
- (2) 自然科学研究助成事業では、全国の65〔74〕大学から応募総数147〔180〕件、その中から選考で24〔25〕大学から32〔38〕件を書類・面接審査で採択し、研究助成金として6,857万〔1億477万〕円を助成。
- (3) 第3回顕彰事業では、自然科学・技術の発展、産業の振興、自然科学教育などの面で顕著な功績のあった人または団体を一般推薦公募し、書類選考により本年度は、研究分野で金光義彦氏と萩谷昌己氏の2名が選考され、副賞として200万〔100万〕円が贈られた。
- (4) 青少年創造性開発育成事業は、青少年の創造性育成事業を中心に1,252万342〔1,473万4,206〕円を助成。毎年の継続支援も多く、規模的にも大きくは変わらないが、千工研(千葉県高等学校工業教育研究会)に支援していた150万円を千葉県内のそれぞれの工業高校等へ直接支援する事としたため、千工研への支援額が減少し、工業高校への支援数が増大した。

## 正味財産増減計算書（収支決算書）

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度 H30. 4. 1～H31. 3. 31	前年度 H29. 4. 1～H30. 3. 31	増 減 (当年)-(前年)
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	175,143,745	199,760,798	△ 24,617,053
基本財産受取配当	175,089,746	199,706,799	△ 24,617,053
基本財産受取利息	53,999	53,999	0
特定資産運用益	17,000	17,000	0
特定資産受取利息	17,000	17,000	0
流動資産運用益	1,853	758	1,095
受取利息（普通預金）	1,853	758	1,095
特定資産振替額	0	0	0
30周年記念事業積立金	0	0	0
寄付金	0	0	0
寄付金	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>175,162,598</b>	<b>199,778,556</b>	<b>△ 24,615,958</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>146,505,803</b>	<b>171,121,871</b>	<b>△ 24,616,068</b>
支払助成金（研究助成事業）	79,846,764	116,125,575	△ 36,278,811
支払助成金（奨学事業）	14,245,788	11,892,065	2,353,723
支払助成金（青少年創育事業）	13,303,836	15,600,859	△ 2,297,023
支払助成金（顕彰事業費）	3,945,116	2,857,143	1,087,973
給料手当	27,024,175	19,529,360	7,494,815
その他人件費（慰労金等）	2,655,110	0	2,655,110
福利厚生費	388,738	274,096	114,642
旅費交通費	491,911	524,978	△ 33,067
通信運搬費	620,049	554,283	65,766
消耗品費	1,088,116	1,211,024	△ 122,908
修繕費	625,190	625,190	0
光熱水料費	212,066	199,298	12,768
賃借料	2,058,944	1,728,000	330,944
<b>管理費</b>	<b>15,188,606</b>	<b>10,386,191</b>	<b>4,802,415</b>
給料手当	6,756,044	4,882,340	1,873,704
その他人件費（慰労金）	663,778	0	663,778
福利厚生費	97,184	68,524	28,660
会議費	1,252,070	1,162,383	89,687
役員報酬費	3,568,442	1,433,319	2,135,123
通信運搬費	155,012	138,571	16,441
消耗品費	272,029	302,756	△ 30,727
修繕費	156,298	156,298	0
光熱水料費	53,017	49,824	3,193
賃借料	514,736	432,000	82,736
雑費	1,699,996	1,760,176	△ 60,180
<b>経常費用計</b>	<b>161,694,409</b>	<b>181,508,062</b>	<b>△ 19,813,653</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	13,468,189	18,270,494	△ 4,802,305
<b>当期経常増減額</b>	<b>13,468,189</b>	<b>18,270,494</b>	<b>△ 4,802,305</b>
2. 経常外増減の部			
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産への振替額	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>13,468,189</b>	<b>18,270,494</b>	<b>△ 4,802,305</b>
一般正味財産期首残高	67,434,908	49,164,414	18,270,494
一般正味財産期末残高	80,903,097	67,434,908	13,468,189
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
特定資産積立金			0
創立30周年記念事業取崩金			0
①基本財産受取配当			
基本財産受取配当	286,495,088	286,495,088	
②基本財産受取利息			
基本財産受取利息	53,999	53,999	
③特定資産受取利息			
特定資産受取利息	17,000	17,000	
④受取寄付金			
受取寄付金	0	0	
⑤一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 175,160,745	△ 199,777,798	24,617,053
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>111,405,342</b>	<b>86,788,289</b>	<b>24,617,053</b>
指定正味財産期首残高	490,981,289	404,193,000	86,788,289
指定正味財産期末残高	602,386,631	490,981,289	111,405,342
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>683,289,728</b>	<b>558,416,197</b>	<b>124,873,531</b>

# 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度 (平成30年度)	前年度 (平成29年度)	増 減 (当年)-(前年)
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
普通預金	80,903,097	67,434,908	13,468,189
流動資産合計	80,903,097	67,434,908	13,468,189
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	90,000,000	90,000,000	0
株 式	144,193,000	144,193,000	0
基本財産合計	234,193,000	234,193,000	0
(2) 特定資産			
定期預金	170,000,000	170,000,000	0
特定資産合計	170,000,000	170,000,000	0
(3) その他固定資産			
普通預金 (6号財産)	198,193,631	86,788,289	111,405,342
その他固定資産合計	198,193,631	86,788,289	111,405,342
固定資産合計	602,386,631	490,981,289	111,405,342
資産合計	683,289,728	558,416,197	124,873,531
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	602,386,631	490,981,289	111,405,342
指定正味財産合計	602,386,631	490,981,289	111,405,342
(うち基本財産への充当額)	(234,193,000)	(234,193,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(170,000,000)	(170,000,000)	(0)
(うち6号財産への充当額)	(198,193,631)	(86,788,289)	(111,405,342)
2. 一般正味財産	80,903,097	67,434,908	13,468,189
一般正味財産合計	80,903,097	67,434,908	13,468,189
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	683,289,728	558,416,197	124,873,531
負債及び正味財産合計	683,289,728	558,416,197	124,873,531

# 財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	預金	普通預金 千葉銀行茂原支店	運用資金として	78,410,094	
	預金	普通預金 三菱UFJ信託銀行千葉支店	運用資金として	2,493,003	
<b>流動資産合計</b>				<b>80,903,097</b>	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	3,255,626株式  双葉電子工業株式会社	運用益を公益目的事業の財源及び法人会計として使用。  143,993,000	
		投資有価証券	400株式  株式会社長生商店	運用益を公益目的事業の財源及び法人会計として使用。  200,000	
	特定資産	預金	定期預金  三菱UFJ信託銀行千葉支店	運用益を公益目的事業の財源及び法人会計として使用。  90,000,000	
		公益事業準備資金	定期預金 千葉銀行茂原支店	運用益を公益目的事業の財源及び法人会計として使用。  170,000,000	
		6号財産	公益事業保有資金	普通預金 千葉銀行茂原支店	公益目的事業の財源として使用する  198,193,631
<b>固定資産合計</b>				<b>602,386,631</b>	
<b>資産合計</b>				<b>683,289,728</b>	
(流動負債)					
<b>流動負債合計</b>				<b>0</b>	
(固定負債)					
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>	
<b>負債合計</b>				<b>0</b>	
<b>正味財産</b>				<b>683,289,728</b>	